

クリニカルクエスチョン一覧

予防（マスク・エアコン）

Q-1 マスクを着用すると体温が上がるか？

A-1 暑熱環境における 1 時間程度の軽度の運動、あるいは 20 分のランニング程度の運動強度では、マスクの着用が体温に及ぼす影響はない。

Q-2 マスクを着用すると熱中症の発症が多くなるか？

A-2 健康成人においてマスクの着用が熱中症の危険因子となる根拠はない。

Q-3 COVID-19 の予防で「密閉」空間にしないようにしながら、熱中症を予防するためには、どのようにエアコンを用いるべきか？

A-3 職場や教室等、人の集まる屋内では、密閉空間を避けるため、自然な風の流れが生じるように 2 方向の窓を開ける換気を適宜行い、室温を測定しながら、エアコンの温度設定を調節する。熱中症対策と COVID-19 感染症対策を両立することが望ましい。

診断（臨床症状・血液検査・胸部 CT 検査）

Q-4 熱中症と COVID-19 は臨床症状から区別できるか？

A-4 熱中症と COVID-19 はいずれも多彩な全身症状を呈するため、臨床症状のみから鑑別は困難である。

Q-5 血液検査は熱中症と COVID-19 の鑑別に有用か？

A-5 両者の鑑別に有用な血液検査の項目はない。

Q-6 高体温、意識障害で熱中症を疑う患者の胸部 CT 検査は COVID-19 の鑑別診断に有用か？

A-6 確定診断と除外診断に用いるには、不適切である。

治療（冷却法）

Q-7 COVID-19 の可能性がある熱中症患者の場合、蒸散冷却法を用いて、患者を冷却すべきか？

A-7 通常の感染対策を行ったうえで蒸散冷却法を用いた積極的冷却を行ってもよいが、各施設で迅速に使用できる冷却法を選択するのが望ましい